

授業科目 性と生殖

【担当教員名】 塚本 康子		対象学年	2	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○			
【概要・一般目標：GI0】 人の性と生殖についての概念、発生の機序、形態と機能について学ぶ。また、人がその人らしく生きるために、ライフサイクル各期の性や生殖の発達や課題を理解し、セクシュアリティの看護を修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 人の性と生殖の概念を述べるができる。 2. 人の発生と性分化について説明できる。 3. 生殖器の形態と構造、生殖機能を説明できる。 4. 女性の思春期と更年期における生理を具体的に説明できる。 5. 生殖に関する諸問題を説明できる。 6. 思春期のカウンセリング・ピアエデュケーションの意義を理解し、性教育のあり方を考える。 7. 自分の体を知る。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	人間の性と生殖の概念、人間の性行動			1	講義
2	生殖の形態と機能			2.3	講義
3	女性の性機能—思春期			3.4	講義
4	女性の性機能—更年期			3.4	講義
5	成熟期の性機能—家族計画			3.7	講義
6	生殖に関連する疾患			4.5	講義
7	ピアエデュケーション			6	講義
8	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		助産学体系第3版 人間の性・生殖	青木康子編 他	日本看護協会出版会	2010
参考書		必要に応じ随時提示します。			
その他の資料					
【評価方法】 レポート 50 点 試験 50 点		【履修上の留意点】 自分の体の仕組みを知ること、また性にまつわる問題を考究して欲しい。			